

＜節電(冬季)に係る取り組み＞

①全学共通の取組

2025. 11. 26

取 組	内 容
空調に係る節電	<ul style="list-style-type: none">◆原則、室温は19℃とする。ただし、健康を第一に外気温や室内環境を勘案し、若干の調整は可能とする。◆なお、室温管理は空調機の設定温度ではなく、温度計等により行う。◆対流促進のため、扇風機・サーキュレーターを活用する。◆エアコンのフィルター清掃を行う。(月1～2回程度)◆エアコンは必要な場所で必要な時間だけ運転する。◆長時間(1時間以上)の外出をする際にはエアコンをOFFにする。
照明に係る節電	<ul style="list-style-type: none">◆原則、南側窓側の照明は使用しない。◆必要に応じて照度を測定し適切な蛍光灯の本数とする。◆原則、昼間は廊下の照明は使用しない。◆昼休みは部屋の照明は使用しない。◆夜間(残業時等)の照明は必要最小限に留め、それ以外の箇所は消灯すること。◆ランプ及び照明器具の反射板を清掃する。◆外出する際には照明をOFFにする。(特にLEDの場合)
パソコンに係る節電	<ul style="list-style-type: none">◆ディスプレイの輝度を落とす。デスクトップ型パソコンOFF時は、ディスプレイもOFFにする。◆使用しないときはスリープ状態又OFFにする。
コピー機に係る節電	<ul style="list-style-type: none">◆コピー機は、不在時には節電モードとする。FAX機能の無い機種は主電源をOFFにする。◆コピー機が複数台設置されている場合は、集約し稼働台数を減らす。
その他家電製品に係る節電	<ul style="list-style-type: none">◆原則、電気ポット、コーヒーマーカー及び食器乾燥機は使用しない。◆冷蔵庫の冷やし過ぎを避け(強→中)、扉を開ける回数・時間を減らすとともに、詰め込み過ぎないようにする。◆冷蔵庫と壁の間は適切な空間を空けること。◆古い電気製品はエネルギー消費効率の高い製品に更新することを検討する。◆使用していない電気製品のコンセントは抜く。
共用部分に係る節電	<ul style="list-style-type: none">◆トイレの暖房便座は適切な温度に設定するとともに、使用後は蓋を閉める。◆台所、トイレの換気扇は常時使用しない。◆自動ドアはできる限り使用しない。

「ウォームビズ」の励行	◆機能性素材のインナーやセーターの着用、ひざ掛け・ストールの利用等「ウォームビズ」を推進する。
エレベータ使用の抑制	◆上下３階程度の移動はエレベータではなく、階段を利用する。 「３ＵＰ・３ＤＯＷＮ」

②教学における取組

取 組	内 容
課外活動の短縮	◆課外活動を短縮等して節電を促進する。

③研究における取組

取 組	内 容
モニタリング体制の整備	◆使用電力が契約電力の一定割合を超えた場合、メール等により学内に注意喚起を行い、研究に差し支えない機器・照明等を停止する。
研究室単位での節電	◆学生及び教職員が一体となって、研究室で節電に取り組む。 ◆ドラフトチャンバーの開閉窓は、未使用時には閉鎖又は最小開口とする。
実験機器等の共同利用や集約化等	◆実験機器等の共同利用化を進める。 ◆試料用等の冷蔵庫や冷凍庫は、収納物を整理し高効率のものに集約する。 ◆引き続き冷蔵庫等の更新と照明のＬＥＤ化を行う。
ピーク時間のシフト	◆ピーク時を避けて実験等を実施する。 (本学では１５時～１６時が冬季のピーク時間)

④管理運営部門における取組

取 組	内 容
会議の短縮等	◆事前の資料提供等により、可能な限り短縮する。 ◆資料はなるべくペーパーレス化する。 ◆会議はなるべくオンライン会議とする。
定時退庁の徹底、休暇の取得促進等	◆仕事の能率を上げ定時退庁を徹底し、残業はしない。 ◆年次休暇の取得を促進する。 ◆最後に退庁する人は、空調・照明のスイッチを確実にＯＦＦにする。

⑤学生の取組

取 組	内 容
サークル棟における節電	◆部室は２０時までに消灯する。 ◆学生が主体となって、サークル棟内の部室で使用されているエアコンなどの電化製品について、節電の取組を実施する。